

# 目 次

第1章	研究の現状と課題	
1.	本研究の目的	1
2.	研究体制と実施状況	3
3.	「同範」と「範傷」に関する研究史	4
第2章	SfM-MVSによる計測方法について	
1.	Metashape pro版を使用する瓦当文様の三次元計測方法	11
2.	異なるフォトグラメトリ実行プログラムで構築した瓦の三次元モデルの比較	23
第3章	三次元計測データを応用した考古学的研究	
1.	「瓦様」と瓦範 - 東大寺式軒丸瓦における同紋瓦・同範瓦の再検討 -	29
2.	変形忍冬唐草文軒平瓦6647Cの再検討	65
第4章	三次元計測データの公開活用に向けて	
1.	現状の課題	85
2.	奈文研ホームページ上での公開	85
3.	Sketchfabでの公開	87
第5章	総括と展望	89
	巻末図版：東大寺式軒瓦・計測図一覧	91